

ぬまっこ 号外

ぼんじてってい ～凡事徹底～

令和5年12月18日

発行者

校長 三浦 了二

今年もあとわずか

令和5年も残すところ2週間となりました。学校は今週で今年の授業が終わります。

今年は5月8日にコロナウイルス感染症について感染症上の分類が5類になったことを受け、今まで制限されていた教育活動を緩和しながら、従来の活動を少しずつではありますが進めることができました。

この3年間は、あらゆる活動が制限されており、特に集団（グループや学級）で活動することがなかなかできず、周囲との距離を取りながら、一人一人での活動が中心になっていました。今後は、学校でもあらゆる活動で協働での学び（活動）を取り入れていきます。

先日は6年生が家庭科の調理実習に取り組みました。調理実習は「密」になる活動とすることで、原則実施しない教育活動とされていたので、本校でも久しぶりの「調理実習」となりました。どのグループもメンバーと協力しながらおいしそうな卵料理を工夫して作っていました。



3年生 脱穀作業

3年生が14日に、バケツ稲の脱穀作業を行いました。田植えからずっとお世話になっている小野寺さんに御指導いただき、乾燥させた稲から粃を取り脱穀していきました。脱穀した粃をすり鉢でする「粃すり」まで体験しました。今は、コンバインでやる作業ですが、子供たちの活動の様子を見ていると、改めて大変な作業だと感じました。しかし、3年生の子供たちは、自分たちが育てた稲だからこそ、とても熱心に作業を行いました。

